

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターそよかぜ		
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年2月14日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚療法士といった医療職や保育士や児童指導員、心理職などの多職種連携により、多角的な視点での、評価・支援を提供することができること。	各職種の専門性や多角的な視点を生かした支援方針の検討や定期的なモニタリングの実践。	今後も密な多職種連携を心掛け、必要な支援をセンターとして検討していきます。
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者や訪問先の希望にそった訪問頻度で支援が展開できないこと。	主となる訪問支援員が相談支援専門員と兼務であり、訪問支援に対応出来る時間が限られていること。	人員要求を重ねていくほか、保護者の要望と訪問先の職員との事前会議を通して、必要性を判断し、必要な期間、回数を決定していきます。
2			
3			